

手塚	川本	手塚
手塚	川本	手塚
川本	手塚	
手塚	川本	企画の始まり

今日はお客様と一緒に「ゴジラ×メカゴジラ」をご覧いただいた訳ですが、劇場でご覧になるのは久しぶりですか？

久しぶりですね、何年振りですかね。

「ゴジラ映画」って意外と封切りが終わつてからは劇場で上映されることが少ないんですね。DVDで発売になってそれでお終いみたいな。

「ゴジラ」に限らないんですけどね（笑）。

では改めまして今日上映した「ゴジラ×メカゴジラ」は2002年12月14日、「とつとこハム太郎 ハムハムハムージャ！幻のプリンセス」（監督：出崎統）と2本立てで公開されました。

ここ数年のゴジラ映画の歴史を振り返つて見ますと、「ゴジラ2000 ミレニアム」（99監督：大河原孝夫）で復活して新怪獣オルガ、手塚監督の「ゴジラ×メガギラスG消滅作戦」（00）では新怪獣メガギラス、そして「ゴジラ・モスラ・キングギドラ」（大怪獣総攻撃（以下G M K））（01監督：金子修介）ではゴジラ、モスラ、バ

〈上映会データ〉

「ゴジラ×メカゴジラ」

2002年東宝 監督 手塚昌明 特技監督 菊池雄一
出演 粽由美子 水野久美 中尾彬 宅麻伸 松井秀喜

2007年7月28日（土）

16:00～ 映画上映

17:45～ トークイベント
ゲスト 手塚昌明監督

20:00～ ゲストとの懇親会

映画＆トークイベント料金 2500円

〈ご挨拶〉

ゴジラシリーズが終結して2年。しかしファンの間ではゴジラ復活の声がやみません。

このたび〈自主上映クラブ 朝日映劇〉では「ゴジラ復活祈願上映シリーズ」と題し、グリソムギャングにてゴジラ映画にゆかりの深い方々を招いての上映会＆トークイベントを開催していきます。

今回はその第1弾！

作品はシリーズ中、屈指の人気のメカゴジラ（機龍）。
手塚昌明監督を招いてその面白さの秘密を探ります。

手塚	川本	手塚
手塚	川本	

ラゴン、キングギドラ登場と新怪獣からオールドスター怪獣の登場と変化していく、次にどうなるのかと思つていたらメカゴジラ。新怪獣ではなくオールドスター怪獣のメカゴジラになつた経緯のあたりからお話願いますか？

オルガがあつてメガギラスがあつて、まあ色々な理由があつたんですが、東宝から「やっぱり新怪獣は駄目ですね」ということになつたんです。ネーミングとかデザインとかが悪いという話もあるんですが、まあメガギラスは私が監督しましたから私も責任の一端があるんですが、やっぱり新しい怪獣は認知度が低い、お客様も来ない。じゃあオールド怪獣で特撮バブルもう一度、みたいなことになります。

「メガギラス」も（興行的に）悪くなかったんですが、大満足の万々歳という訳ではなかつた。で次の「G M K」がキングギドラもモスラも出たので、じゃあ次はメカゴジラしかないということになつたんだと思います。

メカゴジラを出してしまつたらもう後がない感じがしますけど（笑）。

カイザーギドラでも出しますか（笑）。